日野 克則
議員
夢みらいクラブ

中学校部活動の地域展開における今後の取組は？

問 中学校部活動の地域展開の進捗状況はどのようになっているのか。また、今後の取組として、ニーズの把握に向けたアンケート調査の実施、スポーツ安全保険の加入における一括代行などのサポート、地域クラブ認定制度の導入、外部指導者向け研修会の実施、活動費などへの補助、施設使用のルール化について、どのように考えているのか。

答 これまでの西条市部活動地域展開検討委員会の開催に加え、今年度は庁内検討委員会を立ち上げて具体的な検討を進めている。今後は、アンケートなどでの生徒や保護者のニーズ把握に加え、スポーツ安全保険については、適切な保険加入を促し、加入及び事故時の手続きの周知を図りたい。また、地域クラブ認定制度の導入については、実情に合った制度設計に取り組み、外部指導者向け研修の実施や活動費などへの補助については、先進地の事例を参考に検討したい。施設使用のルール化についても、関係各課や学校現場と調整しながらしくみづくりを進めたい。

高木 新治
議員
夢みらいクラブ

学校現場の逼迫する状況を緩和し教職員の負担を軽減する取組を！

問 教員をサポートし、必要に応じて子どもたちに寄り添うことができる支援員を配置すること、また、学校現場が抱える法的な課題に対し、専門家のアドバイスがより身近にかつ迅速に得られるよう、教育委員会独自のスクールロイヤー制度を導入することについて、どのように考えているのか。

答 現在実施している支援員の配置対応としては、スクールカウンセラーや全中学校に校内サポートルームを設置している。学校の内外で発生する問題行動に特化した支援員の配置は現在行っていないが、教員の業務負担の軽減を図り、教員が児童・生徒一人一人にじっくりと向き合える環境づくりについて、今後も検討を続けていきたい。

また、スクールロイヤー制度の導入については、複雑化・多様化する学校現場の法的課題や増加するカスタマーハラスメントに対応するため、今定例会に予算を提出している新規事業の活用を検討し、教職員が安心して力を発揮できる環境整備に努めたい。

三浦　颯
議員
夢みらいクラブ

グリーン購入の推進によりゼロカーボンシティの実現を！

問 行政が製品やサービスを調達、購入する際に、価格や品質だけではなく、環境への負荷を考慮して優先的に選択するグリーン購入を進めることは、脱炭素社会の形成を後押しする大きな力となるが、グリーン購入の推進に向け、本市での調達基準やガイドラインを整備する考えはないのか。

答 本市ではグリーン購入法の趣旨を踏まえ、基準に適合したコピー用紙やトナーなどを調達しているが、全庁的な共通ルールとなるガイドラインは策定していない。

グリーン購入の推進は、脱炭素社会や循環型社会の構築につながるものと認識しており、第５期西条市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）において、ガイドライン策定を今後検討する項目として位置付けている。

持続可能な地域づくりの推進に向け、本市の実情に即したグリーン購入の在り方を、先進自治体のガイドライン策定状況や運用実態、現場職員の負担軽減なども含め、課題と効果について調査・研究を進めたい。